

## 上宮寺通信

第六十四号

## 誕生の喜び

12月になると、街中は華やかになりクリスマススムード一色になります。日本では完全にイベントとなつていますが、本来はキリスト教を開いたイエス・キリストの誕生日を祝う行事です。

仏教でもお釈迦様の誕生日である4月8日に「花まつり」を行いお祝いをします。誕生とはめでたいことであり喜ばしいことです。しかも人間として生まれることができたというのはまさに奇跡。そのことを『雑阿含経』では「盲亀浮木（もうきふぼく）の譬え」で教えています。

あるとき、お釈迦様が弟子の

阿難に「あなたは人間に生まれたことをどう思っているのか？」と尋ねられます。阿難は「たいへん喜んでおります」と答えました。そこでお釈迦様は、人間として生まれることの難しさを譬え話で教えられました。

「広い海の中を目の見えない亀が泳いでいる。その亀は百年に一度だけ海面に顔を出すという。そして、広い海には真ん中に小さな穴の開いた一本の丸太棒が漂っている。阿難よ、百年に一度、目の見えない亀が浮かび上がった時にこの広い海に漂っている丸太棒の小さな穴に頭を入れることがあると思うか？」

阿難は「それは絶対とは言いませんが、ない」と言っても過言ではありません」と答え

ました。すると、お釈迦様は「私たちが人間として生まれることは、この亀が広い海で漂う丸太棒の小さな穴に頭を入れることと同じぐらい奇跡的なことなのです」。

『三帰依文』という仏教徒になる誓いの言葉には最初に「人身受け難し、いますでに受く。仏法聞き難し、いますでに聞く。この身今生において度せずんば、さらにいづれの生においてかこの身を度せん」とあります。

「人として誕生することはとても難しいことであるが、いま命をいただいで生きている。仏法に出遇うことも難しいことだが、いまこうして出遇うことができた。この人生において仏法に出遇い迷いを断ち切ることが

できなければ、生まれ変わったとしても迷いの生を繰り返すばかりである」と、人と生まれ仏法に出遇うことの大切さが記されているのです。

人として命をいただくことは奇跡的なことであるが、そのことを気づかせてくれる仏法に出遇わなければ本当の意味での「誕生の喜び」を知ることにはならない。『三帰依文』はそう教えてくれています。



◆行事案内

上宮寺の行事

修正会

1月1日(元旦・月)

午後2時～

※ご参詣の皆様と『正信偈』のお勤めをします。お勤めの後、恒例のビンゴ大会を復活します。

どうぞ年の始めにご家族でご参詣ください。

名古屋別院(東別院) 報恩講  
12月13日(水)～18日(月)

◆話題あれこれ

○11月8日の報恩講はほかほか陽気の中で勤めることができました。多くの方にお参りをいただきありがとうございます。ありがとうございました。

○11月24日の東本願寺報恩講団体参拝にも多くの方のご参加をいただきありがとうございます。ありがとうございました。

○12月13日から18日まで東別院の報恩講が勤まります。行事等は徐々にコロナ前に戻りつつあります。ご都合つきましたら、ぜひご参詣ください。



○12月17日(日)の東別院報恩講の「リレー法話」で住職が話をさせていただきます。担当時間は午後5時半から30分。テーマは『歎異抄』第三章です。会場は対面所になります。

○来年元旦の修正会ではビンゴ大会を復活します。お抹茶、甘酒のふるまいはありませんのでご了承ください。

○寒くなってきました。体調には十分気をつけて良い年をお迎えください。

上宮寺公式アカウント



行事をお知らせするとともに、

LINEを使つての法要の依頼や相談もできます。

【雑感】

11月21日の本山報恩講初速夜法要に出仕するために京都へ行ってきました。京都といえば知る人ぞ知るラーメン激戦区。京都駅近くにも昔から有名なラーメン屋さんがありますし、あちこちにラーメン屋があります。学生時代、京都市北部に住んでいたので一乗寺や北白川のラーメン屋によく食べに行っていました。京都に行くたびにそのことを思い出し食へに行きたいなあと思うのですが、最近はおっぴろりとしたものを食べると次の日が…。寂しいことです。(住職記)

【発行】

真宗大谷派

上宮寺

昭和区白金二丁目十九番十五号

☎052-871-0547